

単元名

第3学年 NEW HORIZON

Unit6 Beyond Borders

内容のまとめり

「話すこと [発表]」ウ

1 「話すこと [発表]」における第3学年の目標

日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を、聞き手の理解に応じて、繰り返したり、強調したりしながら、10文程度の英文で話すことができる。

2 単元の目標

SDGs について世界の現状を知ったり、目標を達成するために自分達に何ができるかを伝えたりするために、世界の現状や自分の考えについて、事実と考えを整理して、話すことができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の理解をもとに、現実とは異なる願い事や架空の話などを伝える技能を身に付けている。 	<p>SDGs の考えを広げ、目標達成に近づくために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、捉えた事実と自分たちができることを伝え合ったりしている。</p>	<p>SDGs の考えを広げ、目標達成に近づくために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、捉えた事実と自分たちができることを伝え合ったりしようとしている。</p>

4 主な言語活動における必要な力と留意点

【スピーチ活動における必要な力】	【スピーチ活動における留意点】
<ul style="list-style-type: none"> ①自分の立場(意見や根拠)を明確にすること ②経験やデータなどの説得力のある理由を加えること ③伝わりやすい文章構成にすること ④聞き手を巻き込みながら話すこと ⑤題材に対する興味・関心や知識があること 	<ul style="list-style-type: none"> 1 対話活動をする中で、表現の幅を広げていくこと 2 聞き手が納得できるような客観的な根拠を示すこと 3 聞き手に伝わりやすい表現を使ったり、例示を出しながら具体的に伝えたりすること 4 マッピングをもとにして、対話活動をする中で、文章校正や内容を再構築すること

5 展開案を含む単元指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1	<p>導入</p> <p>■単元で貫く課題を理解し、世界で起きている問題を知り、それらの問題を解決するために、自分達にはどんなことができるかを考えるなど、国際問題に関心をもつことができる。</p> <p>①JTE のプレゼンを聞き、世界では様々な問題が起きていることを理解する。</p> <p>②SDGs の 17 個の目標から、1 番自分が興味のあるものを選び、タブレット端末を使って調べる。</p> <p>③自分が選んだ問題に対して、どのようなことができるか考える。(マッピングの活用)</p> <p>④問題を解決するために何ができそうか交流する。</p> <p>⑤話したことをもとにして、選んだ問題に関わって起こっている事実や、それに対する自分の思いや自分にできることを現段階で書きまとめる。</p>	<p>・世界が直面している問題について、画像や動画を見せながら想起させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆③において、「情報検索機能」を活用して、自分が選んだ問題について深く追究する。</p> </div> <p>・マッピングを活用し、自分の意見を広げさせていく。</p> <p>・ペアとの交流をすることで、解決の手だての内容面を広げる。</p> <p>・現段階で書きまとめ、「単元のまとめ」の時間と比較させ、成長を実感させる。</p>			
2 【展開案】	<p>Scene 1</p> <p>■国際協力のキャンペーン広告の内容を理解する活動を通して、仮定法で示された子どもたちの現実と願望を理解することができる。</p> <p>①Preview を聞いて、分かったことを交流する。</p> <p>②JTE とのやり取りから本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>What are the children's hopes?</p> </div> <p>③教科書本文 p.91 を読んで、広告が何について書かれているか読み取る。</p> <p>④仮定法について理解し、仮定法を用いて、子どもたちの願いと現実について表現する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>I can't go to school. I want to go to school. →“I wish I could go to school”.</p> <p>We don't have pens and notebooks →“We wish we had pens and notebooks”.</p> </div>	<p>・海斗と Meg が話したことをまずは大枠でつかませ、交流をしながら、詳細について理解させていく。</p> <p>・子どもの写真を見せ、彼らの願いは何かと問う。</p> <p>・広告であるということ踏まえ、聞くからではなく、読むから入る。</p> <p>・現実と願望に分けて書くことで、仮定法の意味に意識を向かせる。</p>	○		
3	<p>Scene 1</p> <p>■世界をよくするために、自分にはどのようなことができるかを伝えるために、仮定法について理解を深め、仮定法を用いてどんな世の中になればよいか願望を書くことができる。</p> <p>①Small Talk から本時の課題をつかむ。</p> <p>②世界の問題点や気になることについて考える。</p> <p>③中間交流をする。</p> <p>④世界の問題点とそれに対する改善点、自分の希望を書きまとめる。</p>	<p>・Small Talk では、よりよい世界に向けて何ができるかを考えさせ、本時の内容につなげる。</p> <p>・SDGs の話題を取り上げ、何ができるかを考えさせる。</p> <p>・中間交流では、改善の内容と、それをどう表現しているかの表現面を交流する。</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p> </div>

4	<p>Scene 2</p> <p>■海斗と Meg のランドセルの寄付に関わる会話を理解する活動を通して、日本のランドセルが海外に多く送られていることに気づき、その活動について、写真を使って説明することができる。</p> <p>①教科書本文 p.92 の 2 人の会話を聞き、分かったことをペアで交流する。 →会話の概要を理解する。</p> <p>②本文に関わる TF 問題に取り組む。</p> <p>③海を渡るランドセルについて、写真を用いて説明する。(3回)</p> <p>④中間交流を通して、自分の経験や思いを付け加える大切さを知る。</p> <p>⑤教科書の写真をもとに再度説明する。</p>	<p>・Retelling をする際には、目的・場面・状況を意識しながら、教科書の写真を使って、説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【目的・場面・状況】</p> <p>日本にはランドセルを海外に送る取組について知らない人が多くいます。そこで、知らない人に内容を説明し、協力を呼びかける発信をしましょう。</p> </div> <p>・ SNS で発信する形式で Writing の活動を行う。</p>	
5	<p>Mini Activity</p> <p>■世界をよくするためには、どのようなことが自分にできるか、どんな世の中になればよいかを考えるを通して、仮定法を使うことのよさに気づき、仮定法を用いて、どんな世の中になればよいか願望を書くことができる。</p> <p>①JTE の SDGs の紹介を聞くことで、どんな現実があるかを確認する。</p> <p>②様々な場面・状況で、事実と願望を分けて書く。 →ペアで交流し、間違いがないか確認する。</p> <p>③国際問題に対して、事実と自分の願望を分けて書く。→書いたことを、グループで交流をする。</p> <p>④日常生活の現実と願望を分けて書く。</p>	<p>・ SDGs の取組の中で、世界で起きている問題とそれに対する具体的な活動を紹介し、解決策の見通しをもたせる。</p> <p>・ 事実と願望を分けて書かせることで、仮定法の意味・用法に意識を向かせる。</p> <p>・ グループ交流では、仮定法が正しく使えているか、現実と願望が一致しているかの視点で確認し合う。</p>	
6	<p>Read and Think I</p> <p>■国を越えて助け合うことの大切さを理解したり、伝えたりするために、ランドセルを途上国に送る取組について書かれた文章の概要を理解し、その内容について自分の考えをもつことができる。</p> <p>①1 minute speech から、本時の課題をつかむ。</p> <p>②Title Matching などの問題に取り組む。</p> <p>③本文を音読する。</p> <p>④キャンペーンがどのような内容であったか日本語でまとめる。</p> <p>⑤海斗のスピーチを聞いたり、読んだりして感じたことを英語で書きまとめる。</p>	<p>・ 1 minute speech で本時の学習内容に関わるものを出すことで、意識を向かせる。</p> <p>【テーマ：学校がなかったら、何が起きるか？】</p> <p>・ Title Matching, Picture Matching, Word Search, TF 問題の段階的に読み取りを行う。</p> <p>・ 音読をする時には、1語読み→チャンク読み→1文読みと段階的に音読をする。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>

<p>7 【展開案】</p>	<p>Read and Think 1</p> <p>■海斗のキャンペーンに関わるスピーチの内容について、要約をつくり、それをもとに写真を使いながら、ランドセルを途上国に送る取組について説明することができる。</p> <p>①教師のモデルを見て、目的・場面・状況を知り、本時達成したい姿に見通しをもつ。</p> <p>Let's explain the Japanese School Backpacks Project.</p> <p>②教科書本文 p.94 の要約をつくり、それをもとに、写真を用いながらペアで伝え合う。</p> <p>③話したことをもとにして、自分が伝えたいことをまとめる。→グループで交流</p> <p>④SNS で発信するという場面でランドセルの取組について書きまとめる。</p> <p>In some parts of the world, there are many children that are illiterate. Japan sends school backpacks with pens and notebooks for children in Afghanistan. School backpacks have been changing their lives. Did you know about this? I didn't know about this and I have never thought of sending my old backpacks. You can help them by donating other things, like pencils and notebooks...</p>	<p>【目的・場面・状況】</p> <p>日本のランドセルの取組を知らない人が多くいます。そこで、知らない人に取組の内容を説明し、さらに、協力を呼びかける発信をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約はマッピングや、簡単なメモ程度とし、対話しながら、自分の要約を完成させていく。 ・④では、③で話したことをもとにして、書きまとめる。その後、グループで、目的・場面・状況に合っているか確認する。 ・SNS で発信するという現実的な目的・場面・状況を与えることで、使用する写真や伝えたい内容に変化が生まれる。 		○	○
<p>8</p>	<p>Read and Think 1</p> <p>■日本が外国との貿易に頼っている現状について概要を捉え、貿易に関する事実とそれに対する自分の考えをもつことができる。</p> <p>①1 minute speech や JTE の日本の貿易に関わる話から本時の課題をつかむ。</p> <p>②Title Matching などに取り組む。</p> <p>③教科書本文 p.95 を音読する。</p> <p>④日本が外国の貿易に頼っている事実と、それに対する自分の考えを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 minute speech では、前時の内容を、もう一度取り扱う。 <p>【テーマ：日本のランドセルの取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Title Matching , Story Ordering , Picture Matching と段階的に読むことで、日本の貿易の現状について読み取らせる。 		<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>	
<p>9</p>	<p>Read and Think 2</p> <p>■日本が外国との貿易に頼っている現状について、写真や表を用いて、事実やそれに関する自分の意見を伝えることができる。</p> <p>①教師のモデルを見て、活動の見通しをもつ。</p> <p>②日本が外国の貿易に頼っていることを知らない人にどんなことを伝えるとよいかを書き出し、本文 p.95 の要約を英語でつくり、ペアに伝える。</p> <p>③話したことを基にして、書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・②では、どんなことを伝えるとよいかを考えさせることで、伝えるべき内容を整理する。 ・要約はマッピングや、簡単なメモ程度とし、それをもとにして、貿易の事実について伝える。 ・④では、話したことをもとにして、書きまとめる。 			

10	Unit Activity ■世界を100人の村だと仮定し、その世界の現状について、根拠を示したり、数字を用いたりしながら、現状について伝え、自分の感想や意見を表現することができる。 ①p.98のSTEP1を聞く。 ②聞いた内容を相手に伝える。 ③自分の感想や考えを加えて、説明する。 ④世界の現状を踏まえて、自分達に何ができるかを考え、ペアで交流する。 ⑤話したことを書きまとめる。	・以下のように段階的に指導を行う。 ②…聞いた事実のみ ③…事実+感想や考え ④…自分達にできること ・伝える時には、教科書で扱われている資料を用いて、伝える。 ◆④において、「プレゼンテーション」を活用して説明する。		○	○
11	単元まとめ① ■SDGsを達成するためにできることを提案する活動を通して、より分かりやすく伝える方法を理解し、問題の事実と自分の意見、解決するために何ができるかを整理して、伝え合うことができる。 ①前時までに考えた問題について確認し、問題と、どのように伝えるとよいか確認する。 ②自分が選んだSDGsについて、伝え合う。 ③仲間の内容や表現を共有する。 ④自分の考えを書きまとめる。 ⑤スピーチの練習をする。	・①では、教科書で取り扱った問題、オリエンテーションの時に扱った問題を確認し、どのように伝えればよかったかを確認する。 ・③では、解決策として、どのような考えがあるのか、事実を伝える際に、どのような表現を使ったのかを交流する。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
12	単元のまとめ② ■SDGs問題に対する自分の考えや、自分達にできることを、スピーチすることができる。 ①スピーチに向けて個人練習をする。 ②グループごとに自分が選んだSDGsについてスピーチをし合う。 ③中間交流をする。 ④タブレットでスピーチの様子を撮影する。 ⑤単元でできたことを振り返る。	・②では、意図的に組んだ(テーマが別)グループで交流を行う。 ・聞き手は、事実が詳しく述べられているか、自分達にできることが提案されているかで評価する。 ◆④において、「録画機能」を活用して、スピーチの様子を撮影する。		○	○
後日	ペーパーテスト・パフォーマンステスト			○	○